

優和のミニかわら版

(この資料は全部お読みいただいても60秒です)

何故従業員研修の効果が上がらないか？

1. 知価社会は、社員レベルの高さが競争力

20世紀は工業化社会、主な生産手段は機械でした。

ところが、21世紀は、知識社会ですので、生産手段は、もろに「人間」です。

ということは、より一層人材の育成をしないと企業は競争力がないし、勝てない。

「人の育成」こそ、会社の「成長」の原点、「人材育成なくして会社の成長なし」

「社員力は最大の競争力」になります。

2. 研修の重要性

さて、人材の育成には、企業研修が欠かせません。

ところが、この研修ですが、意外と成果が上がらない。

どうして、研修が身にならないのでしょうか？

- ① 儲かった時だけ研修する。(研修予算は削りやすい)
- ② フィードバックがない。(やりっぱなしですものね。)
- ③ OJT がない。など言う人もいます。
- ④ 研修だけで自己満足してしまう(研修そのものが目的となりがち)

3. 研修目的を明確にする

研修で成果をあげる為には、「研修目的を明確にする」これが一番重要ではないでしょうか？又、研修方法も工夫することが又大事なことです。

例えば

- ① 五官(五感)を使って研修する。
(「目」「耳」「鼻」「舌」「皮膚」の五つの器官)特に、声を出させることが重要です。
聞くだけの学習はやめよう方が良い。
- ② 座学(講義形式)学習は考えもの、筆者の個人的意見ですが、少人数で、OJTを絡めた学習が良い。